

# 鹿児島地本激励行動団15名 中央執行委員会を激励



鹿児島地方本部は2014年度年末手当交渉のヤマ場を迎えた11月13日(木)、中央執行委員会に対し、要求の満額回答に向け更に奮闘するよう、地本激励行動団を結成して中央本部を訪問、中央執行委員会に対し組合員の年末手当に対する想いを伝えるとともに、要求獲得に向け檄を飛ばした。

出発にあたり、地本会議室で行われた結団式では、江口地本執行委員長の挨拶の後、延時書記長より年末手当の取り組みについて説明があり、参加者の自

己紹介の後、地方本部執行副委員長の上飯屋浩二団長を中心とする平成採用組合員15名で中央本部に向け出発した。

この取り組みは2012年から開催しており、平成採用組合員を中心に激励行動団を結成し中央本部の訪問を通して、次を担うであろう平成採用組合員の皆さんに、自分たちが取り組んだ檄布や署名がどのように活用されているのか、中央本部とはどのようなものなのか、交渉にあたっての中央本部の熱気はどういうものなのかを

肌で感じて頂き、JR九州労組の運動に対する関心や組合活動を知らせてもらうきっかけにと地本が独自に企画しているものである。

今回の激励行動では、地本を代表して白石正吾地本組織部長が、中央執行委員会に対し激励文を読み上げ、鹿児島地本が2014年度年末手当要求の前進を目指して檄布・激励FAX行動に組織を挙げて取り組んでいることや、ヤマ場にむけて取り組みを強化する決意を表明し、「我々の努力と流してきた汗をしっかりと会社に評価させ、組合員が納得できる回答を引き出すよう、中央執行委員会に対してより一層の奮闘を要請する」と檄を飛ばした。

激励行動団に対し、許斐中央執行委員長が激励に対する謝辞を述べられ、中原書記長がこの間の交渉経過等についての報告を行い、組合員の想いをしっかりと受け止めて最後の最

後まで満額回答に向けて交渉を継続していく決意を表明した。

その後、激励団一人一人が許斐中央執行委員長と握手を行い、年末手当に対する想いを伝えるとともに、立川大地青年・女性委員長のがんばろうコールで中央執行委員会に対しエールを送り中央本部を後にした。

鹿児島帰着後に行われた報告会で、参加者からは、「初めて中央本部に行ったので緊張した」、「組合がどんな事をしていくか知ることができた」などの声が出た。



## 出向者の激励会を開催

地方本部は11月20日に3回目となる「出向者との意見交換会」を地本会議室で開催した。江口洋一地本委員長より、慣れない箇所や働いている出向者に対し、ねぎらいの言葉と意見交換会の趣旨についての挨拶があり、その後、上野中央執行副委員長が情勢と課題、延時地本書記長が賃金の変遷や嘱託再雇用制度について説明を行った。意見交換会後は懇親会を開催し、近況等を語り合い親睦を深めると共に、再開を確認し閉会した。

**第47回衆議院選挙  
12月2日公示14日投票日**

第47回衆議院選挙は12月2日公示14日投票です。私たちの意見を国政に反映させるための大事な選挙です。みんなで投票所に足を運びましょう。